

わ や 便 り

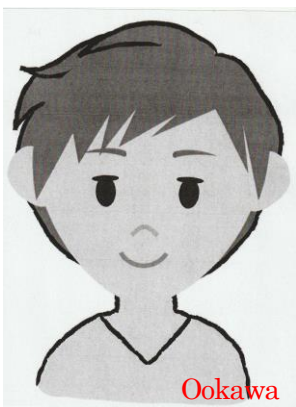
〔和家たより〕 第3号

2020年6月30日発行
尾鷲市大字向井151番地1
特定非営利活動法人
まぐのりあ
電話(0597)37-4030
FAX(0597)37-4031

支援者の声 「暮らしと社会参加を支援しています。」

「和家」開設から、1年が過ぎました。入居者の『暮らしを築き』『社会参加を進めていくこと』が最も大切なことだと思っています。支援する職員は、13名です。今号では支援の中核を担っている常勤職員の紹介と抱負を特集します。

2019年の開設時には、中島博子(管理者兼サービス管理者、生活支援員・世話人)、大川いつき(世話人)、岩崎貴之(生活支援員)の支援体制でスタートしましたが、2020年度は、中島博子が非常勤職員に異動したため、新しく高山寛斗(世話人)が就任し、下記の体制となりました。よろしくお願いたします。



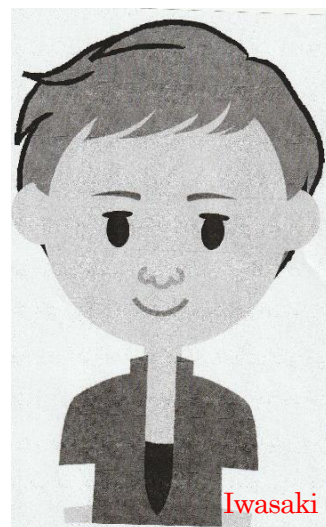
Ookawa

【管理者(兼生活支援員・世話人)】大川いつき

皆様にはいつもお世話いただきありがとうございます。この度、中島博子前管理者の後任として勤めさせていただくことになりました大川です。経験不足で慣れないことも多いため、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、「和家」の”安全航海”を目指し、スタッフ一同、頑張って参ります。今後ともよろしくお願いたします。

【サービス管理責任者(兼生活支援員)】岩崎貴之

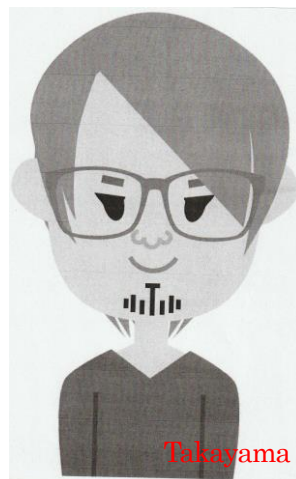
中島前サービス管理責任者の退任に伴い、4月1日からサービス管理責任者を勤めることになりました岩崎です。まだまだ未熟で至らないことも多くあるかと思いますが、「入居者が地域で安心して暮らすこと」ができるように、頑張りますのでよろしくお願いたします。



Iwasaki

【世話人】高山寛斗

4月から、世話人として勤めることになりました。入居者の皆さんが毎日、「楽しく生活ができる」ように、入居の皆さんや職員の皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。



Takayama

あいさつ (前管理者) 中島博子

紀北地域に重度・重複の障がいを持つ人たちのグループホームがどうしても必要だと思い、保護者の人たちと、N

PO法人を設立し、「和家」の開設とともに、管理者として勤めてきました。この度、都合により退任させていただくことになりました。「障がいを持つ人たちが、生き活きと安心して暮らすことができる社会を願う気持ちは変わることがありません。」

これからも、非常勤の職員として支援をしていくとともに、役員や職員の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております。



Nakajima



支援会議



研 修

3月28日、施設内研修を行いました。「障がい者グループホームの職員として働くということ」講師は柳誠四郎氏（当法人監事、社会福祉法人おおすぎ理事長）。

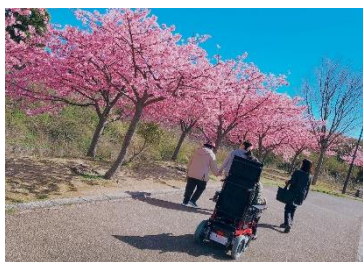
戦後の施設中心の処遇から、人権に基づく地域での暮らしにシフトする過程。その一つとしてグループホームの意義。職員としての心構えなど。スライドを使って、約1時間、話していただきました。

～参加者の感想～

職員研修を受け、障がい者福祉の歴史の長さや当時の状況などを知り、障がい者福祉の奥深さを知ることができました。柳先生の講義は、ご自身の施設での支援の体験談も話され、とても興味深くとても楽しくおもしろい研修でした。（I）

暮らし&社会参加

和家の暮らしと社会参加の様子をお知らせします。



- 2月3日 節分(豆まき)
- 2月24日 ドライブ(熊野市・山崎運動公園)
- 3月25日 消防訓練(通報)
- 4月6日 花見(紀北町・権兵衛の里)
- 5月4日 蕎麦打ち体験
- 5月5日 バーベキュー
- 5月6日 調理実習(カレーライス)



ご報告

尾鷲ロータリークラブ（小倉眞左美クラブ会長）から、大型の洗濯機の寄贈がありました。これまで、1台しかなく、少人数のグループホームと

はいえ、「梅雨から暑い季節を前に、もう1台欲しい」と思っていたところなので、とても助かります。早速、入居者の皆さんと一緒に利用しています。

【写真】 寄贈の洗濯機と小倉ロータリークラブ会長（左）、伊藤理事長

ありがとうございます。

当法人の活動やグループホームの運営に多くの方々からご協力がありました。大切に活用させていただきます。

【賛助会員】 令和2年1月1日～令和2年5月31日

黒司法書士事務所様、大谷ミート様、(株)なごみ様、(株)五味建設様、個人会員 113名
(合計) 320,000円 (320口)

【寄付金】 令和2年1月1日～令和2年5月31日

昭和環境管理(有)様 50,000円、匿名希望 5名 (計)67,900円
(合計) 117,900円



From まぐのりあ

★「和家」来客の際、検温、消毒、マスク着用などをお願いしております。新型コロナウイルス感染防止の対策です。よろしくお祈りします。★6月初旬、和家の玄関にツバメが巣を作りました。中旬、雛鳥が誕生、まもなく巣立ちのようです。「親鳥の懸命な子育て」と「雛鳥の懸命な自立」は入居者、職員ともに「手本のよう存在」(?。「来年も無事においでよ。」「楽しみにしているから」和家で会話です。(6/15記)



編集後記

★入居者の「住まい」「社会参加」を支援している常勤職員の活動にスポットを当ててみました。他にも、非常勤の職員さんや送迎、泊まりのボランティアさん、穫れたての野菜や鮮魚を頂いたり、散歩の途中で声をかけてくれる地域の人たち、通学途中の子どもたち。皆に支えられていることを感じてきた一年でした。★去年の「おわせ港祭り」では、尾鷲湾が見下ろせる高台の「和家」に、沢山の人たちに来ていただき花火を見ることができました。新型コロナの今年は、「港祭り」は中止ということ・・・少し寂しい夏になりそうです。★感染防止には最大の注意を！そして向夏の季節、気をつけたいものですね・・・(Y)